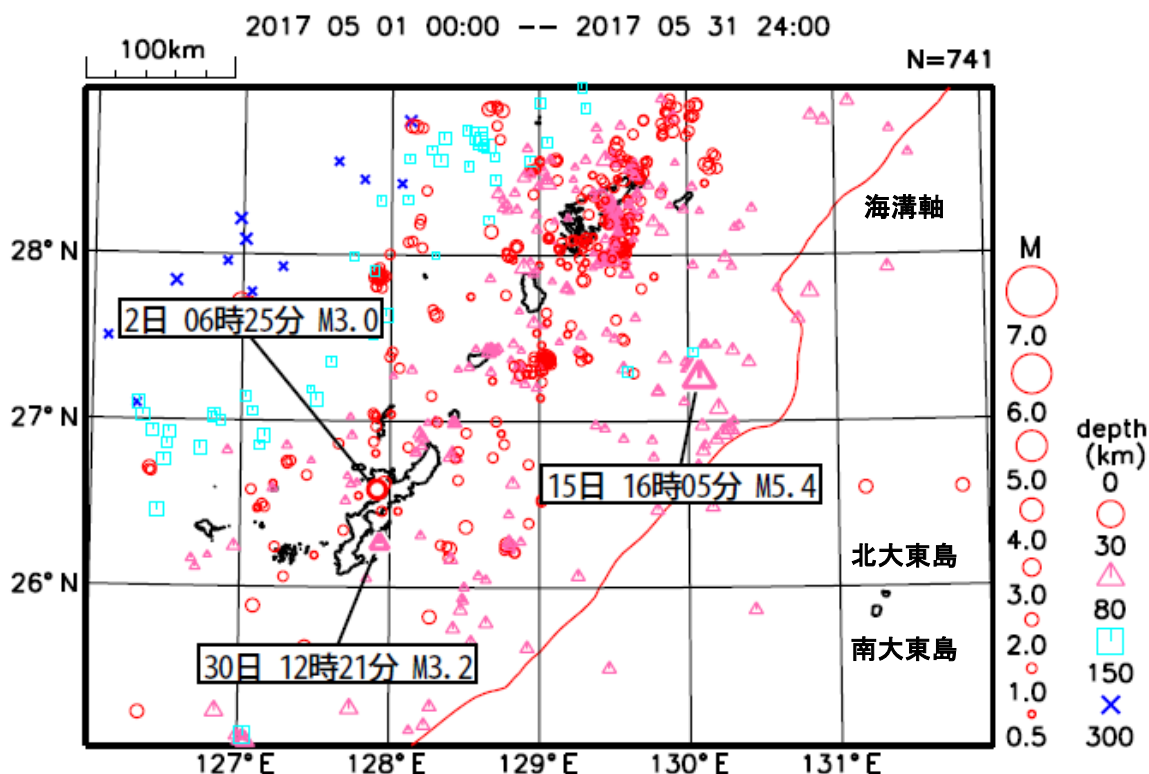


地震活動図

2017年（平成29年）5月

南大東島地方気象台

震央分布図



震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

[概況]

今期間に観測した地震は741回（4月は518回）、大東島地方で震度1以上を観測した地震は1回（4月0回）、沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震は4回（4月0回）でした。なお、M4.0以上の地震は1回（4月4回）でした。

2日06時25分に沖縄本島近海（名護市付近）で発生した地震（M3.0、深さ9km）により、名護市、恩納村、宜野座村で震度1を観測しました。

15日16時05分に奄美大島近海（奄美大島の南南東約140km）で発生した地震（M5.4、今期間最大規模）により、名護市、国頭村、北大東村で震度1を観測しました。大東島地方で震度1を観測したのは、2016年6月13日以来です。

30日12時21分に沖縄本島近海（那覇市の東北東約30km）で発生した地震（M3.2、深さ39km）により、沖縄市で震度1を観測しました。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表(期間:2017年5月1日~31日)

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2017年05月02日06時25分 沖縄県 震度 1: 名護市豊原, 名護市港*, 恩納村恩納*, 宜野座村宜野座*	沖縄本島近海	26° 35.3' N	127° 54.8' E	9km	M3.0
2017年05月09日10時54分 沖縄県 震度 3: 宮古島市平良下里, 宮古島市城辺福北, 宮古島市上野新里 宮古島市城辺福西*, 宮古島市下地* 震度 2: 多良間村塩川, 多良間村仲筋*, 宮古島市平良池間, 宮古島市伊良部国仲 宮古島市平良狩俣*, 宮古島市平良西里*, 宮古島市上野支所* 宮古島市伊良部長浜* 震度 1: 座間味村座間味*, 久米島町謝名堂, 久米島町仲泊*, 久米島町比嘉* 石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 竹富町大原, 竹富町黒島	宮古島近海	24° 22.6' N	126° 19.5' E	79km	M6.4
2017年05月15日16時05分 沖縄県 震度 1: 名護市港*, 国頭村辺土名*, 北大東村中野*	奄美大島近海	27° 15.5' N	130° 04.5' E	64km	M5.4
2017年05月30日12時21分 沖縄県 震度 1: 沖縄市美里*	沖縄本島近海	26° 15.8' N	127° 56.0' E	39km	M3.2

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

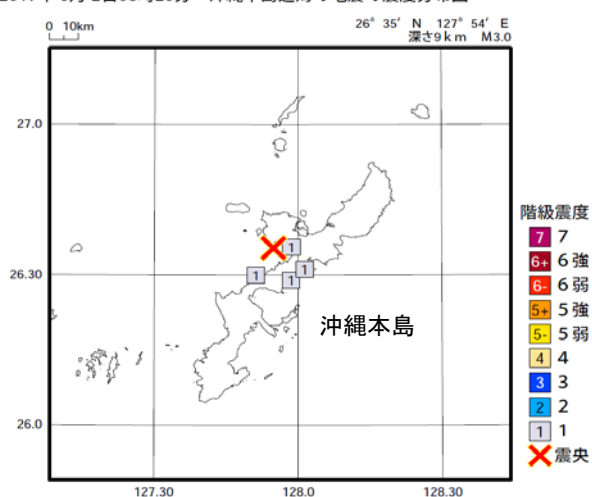
※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国家間地震学研究会(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

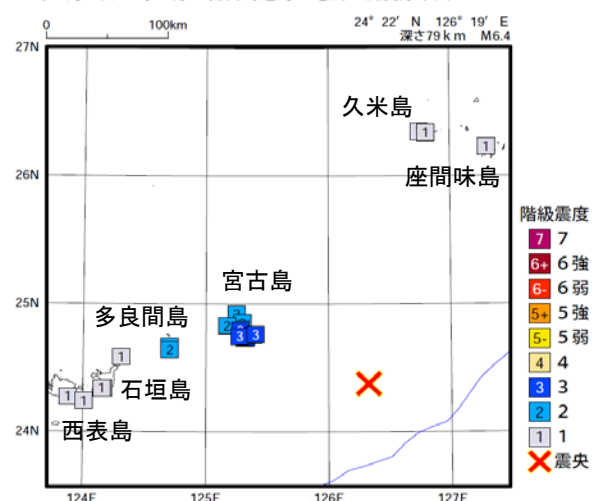
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

震度1以上を観測した地震の震度分布

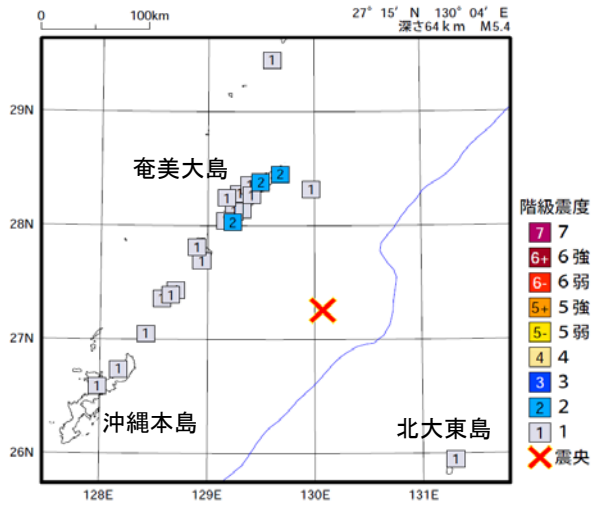
2017年5月2日06時25分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



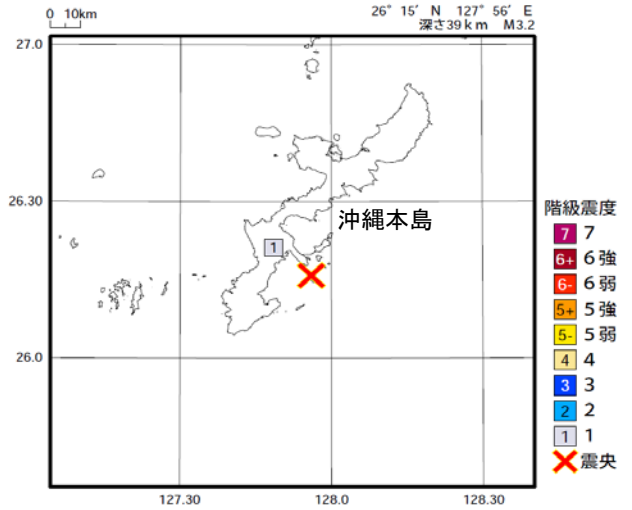
2017年5月9日10時54分 宮古島近海の地震の震度分布図



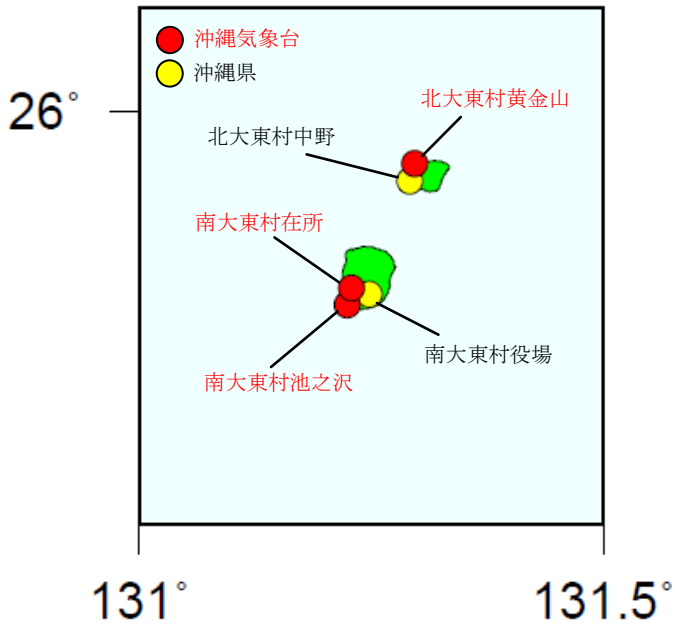
2017年 5月15日16時05分 奄美大島近海の地震の震度分布図



2017年 5月30日12時21分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



大東島地方の震度観測点





本件に関するお問い合わせ先
 (南大東島地方気象台)
 電話 09802-2-2006
<http://www.jma-net.go.jp/daitou/>

沖縄の火山と気象庁が発表する火山情報

～沖縄にも活火山があります～

私たちが暮らしている沖縄地方は、活火山とは無縁だと思いませんか？

活火山とは、おおむね過去1万年以内に噴火した火山や、現在も活発な噴気活動のある火山のことです。現在、日本には110の活火山があり、このうち沖縄県内には「硫黄島」と「西表島北北東海底火山」の2つの活火山があります。

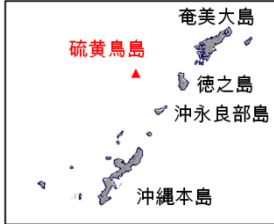
沖縄の火山

硫黄島



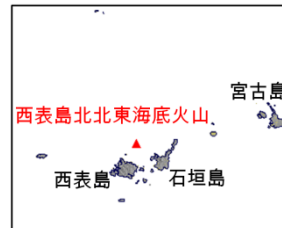
硫黄島

(第十一管区海上保安本部撮影)



●硫黄島は、鹿児島県徳之島の西方約60kmにある無人の火山島で、これまでに10回の噴火の記録があります。1959年の噴火では、3000mの噴煙や、噴石、降灰がありました。泥と硫黄が海上に流出し、全島民86人が島外に移住しました。

西表島北北東海底火山



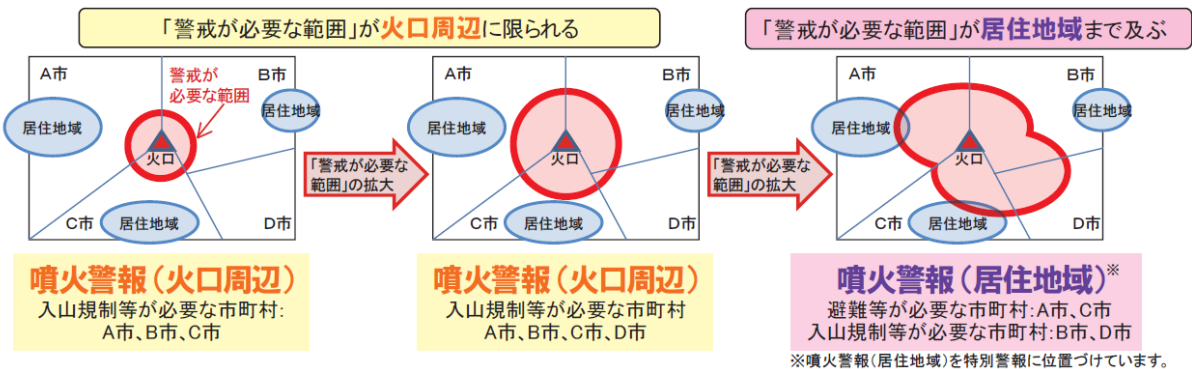
●西表島北北東海底火山は、西表島の北北東約20kmの沖合にある海底火山です。1924年10月31日に、西表島北北東海底火山は突如海底噴火し、翌日は付近の海面一帯に多量の軽石が漂流しました。その後、軽石は黒潮の流れで日本各地へ漂着しました。

日本活火山総覧(第4版)(気象庁編、2013)による。

噴火警報・噴火予報

噴火警報は、生命に危険を及ぼす火山現象*の発生やその拡大が予想される場合に「警戒が必要な範囲」(生命に危険を及ぼす範囲)を明示して発表します。

*生命に危険を及ぼす火山現象：大きな噴石や火砕流、融雪型火山泥流等、発生から短時間で火口周辺や居住地域に到達し、避難までの時間的猶予がほとんどない現象。



火山の情報は気象庁ホームページで確認できます

硫黄島及び西表島北北東海底火山の2017年4月現在の噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況は、「噴火予報(活火山であることに留意)、火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。」となっています。

気象庁が発表する火山に関する情報や資料の解説*は気象庁ホームページで確認できます。

* URL http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/vol_know.html